

竹取物語新聞

第194号 2022年7月26日
発行：NPO 法人森林ボランティア
竹取物語の会

第30回七夕技芸展に参加して

7月7日～10日、枚方市総合文化芸術センターにて、「第30回七夕技芸展」が開催されました。コロナ禍で中止が続いていたので久しぶりの開催です。竹取物語の会から10名の会員の作品と故・岩崎様の遺作品が出品されました。竹細工・草木細工・写真・竹表示・木工細工・絵画・竹和紙細工・木の実細工と会員の技の作品がたくさん！！会場で用意されていたテーブルだけでは狭く、隣の団体のスペースをお借りしたくらいです。一般の見

学者の方が、竹取物語の会の展示コーナーの前で、真剣にご覧になっていたのが印象的です。

出品していただいた会員の皆様、ありがとうございました。次回もよろしくお願いいたします。また後輩への技能指導をしていただければと期待しております。

(文 大野 いずみ)

○今回出品していただいた会員の方（アイウエオ順）
浅尾様、市山様、稲生様、上村様、落合様、田上様、堀田様、松山様、矢吹様、山脇（正）様、故・岩崎様



【スナップ報告】

6月26日 えびこ道沿い竹林整備



6月29日 アスレチック広場整備



刈り払い機安全講習会に参加して

台風一過の曇り空の7月10日、本日はかねてより準備していました刈り払い機安全講習会に参加しました。9時過ぎNPO法人里山倶楽部西川さんが本日の講師として、竹取基地に来場。

本来なら河南町の里山倶楽部に我々が出向いてご指導頂くべきですが、竹取の多くの会員に講習会に参加して頂きたい思いから、今回は西川さんのご配慮により特別メニューの講習会の開催となりました。

午前中は参加者14名による竹取入会動機や過去のヒアリハットの発表等安全作業の共有からスタート。座学では、刈り払い機の扱い方、ヒアリハット、活動計画の必要性など、きめ細かくご指導頂きました。実務指導では、作業地特性の把握及びその対応など反省すべき事も有りました。座学では刈り払い機メンテナンス7項目点検整備を初めヒューマンエラーや熱中症対策としての経口補水液の作り方など大変参考になりました。出来る事からチャ

レンジしたく思います。

又、午後の実技指導では、刈り払い手順が昔より教えられた土を削るぐらいの深切りが当方に定着、今後は土を極力削らず深切りしたく思います。

夏場の草刈りは間伐作業と違い、ただただえらいだけでなんにも面白くない作業かもしれません。しかしながら里山保全には誰かがタイムリーに継続の実施が必要です。刈り払い機使用されない方々も鎌の方が安全且つ効率的な作業の連携を再確認出来ました。本日のご指導を活かす為には、仲間と充分検討して、安全且つ持続可能な在り方を出来る事から順次実施したいと思っております。作業間隔5mルールは肝に銘じます。

本日長時間にわたり献身的にご指導戴いた里山倶楽部の西川さん、美味しい珈琲を差し入れして戴いた里山カフェの中村さん有難うございました。

(文 小出 哲男)



【スナップ報告】



7月13日 アスレチック広場前側溝掃除



7月17日 ヒノキ人工林内遊歩道草刈り



7月20日 財産区竹林整備



7月24日 竹とあそぼ用竹材料収集

-----刈払機安全講習会のうち機械についてのみまとめました ----- 講習会に参加されなかった会員様参考にして下さい (2022.7.10 岩本)

○刈払機と草刈機の違い

刈払機とは電動かエンジンを問わず原動機があり竿の先に付いている丸い回転刃で草を刈るための機械。草刈機は刈払機を含むあらゆる草刈用の機械。

- ハンドル ・ハンドル (両手ハンドルが付いて、安定性がある (竹取はこれを使用している))
 - ・ループハンドル (ハンドル部分を左手で握って上下の調節ができるので傾斜地での作業しやすい)
- 刃 ・チップソー 鋸刃の先端に金属片がついたもの。柔らかい草から硬い枯れ草までオールマイティに対応できる
 - ・ナイロンカッター (コード) 細かく柔らかい草をこまめに刈るようなお手入れに最適

○事故の大半は間違った使い方や、不注意、見込み操により発生しています。

○作業にあった服装をしましょう。

高速回転する刈刃は非常に危険です。刃に直接触れて切傷する他、飛び石や破損刃のかけらが当たり怪我をするケースが多く見受けられます。

<防護めがね・フェースシールド・防振手袋・すね当て・安全靴>。ナイロンコード使用時は特に飛散物が多くなる。

○機械の作業前点検及び整備

- ・先端の刈刃部分のナットの緩みを確認 (緩み・ガタツキがないこと)
- ・飛散防護カバーが適正装備されているか 所定の位置 (矢印の方向に合わせカバーの下面より刈刃が出ていないか)
- ・肩掛けバンド<長さ調整>自然に持った時、刈刃が地上から数センチの高さになるよう。

点検の最後は緊急離脱装置が正しく作動するか

○刈払機の運搬

先端の刈刃部を前にし運ぶ (後ろだと振り向いたりした時危険)

○刈払機の作動方法

- ・燃料が入っているか確認 (混合油)
- ・プライマリーポンプ (プライミングポンプ) を数回押して燃料を送る
- ・スロットルレバーを始動位置 (低速位置) にする
- ・チョークレバーを閉 (始動) にする・・・<閉める事により燃料を密にする>
- ・スターターハンドルを引く
- ・(ぶるると反応したら) チョークレバーを開にし、再度スターターハンドルを引く
- ・エンジン始動 (チョークレバーが閉の状態では始動した場合は開に戻す)

○作業前に現場の環境を整備

木の枝、空き缶、石など刈刃に当たって飛び跳ねるのを取り除く

○年4回の機械点検整備の日には、7項目点検整備 (※3) する。使った後はエアコンプレッサーにて掃除。

- ※3 ・エンジン部 点火プラグ、フィルター、燃料タンクの中にあるろ過フィルター、エアクリーナー、キャブレター
- ・ギアケース部 クリーニング、ヘッド部分の左右にあるボルトを外しそこからグリスを注入

○複数での作業は5mの距離確保。安全作業は1.5m (ハイキング者等立ち入らせない)

作業前に、具体的に作業範囲・距離確保方法・立ち入り禁止方法を確認

○刈刃の切断位置は 10時から12時の間。刈払機は身体の右側。右から左に振るように作業。(足は左が前、刈る→右足を少し前→左足を少し前、そり足で進む) 反時計回りに回転のため右側で刈ると作業側側に跳ね返され (キックバック) 刈刃と接触する恐れ有。往復刈りではキックバックの発生する危険が大きいことや一度残っている株を再度たたき切るため小片となり飛散しやすくなる。刃は地面から少し浮かせて刈っていく。

○進行方向 直線に真っ直ぐ足を動かしていく。出発点は草刈りをする面全体の「左の端」に決め刈った草は左側に揃える。終点に来たら再び出発点に戻り、今刈った草の右側から再度刈る。

○異常音を感じたらエンジンを切る (葉が巻きついた場合共)

○刈り払い機は木・石・空き缶等に当たらないよう動かす (基地周辺は埋めた土砂があるためゴミ等に注意。草刈場所を作業前確認望ましい) 木やテーブルの脚周りは手鎌作業検討。

○傾斜地では下から水平方向に進み順次上に移動する。(足元が滑りやすく崩れることもあり転倒しやすい。下方に向かうと身体が不安定になるとともに刈刃が足近くになる)・・・急斜面は手鎌検討

NPO 法人 竹取物語の会 R.4 年 8 月 活動予定表

		活動予定	特別な活動など	担当・段取りなど
.01	(月)			
.02	(火)			
.03	(水)	活動日	クラフト体験事前準備 山田池水質保全活動	
.04	(木)			
.05	(金)			
.06	(土)			
.07	(日)	活動日	第2回竹とあそぼクラフト体験 9:30 集合	岩本
.08	(月)			
.09	(火)			
.10	(水)	活動日	雑木林整備	
.11	(木)			
.12	(金)			
.13	(土)			
.14	(日)		盆休み	
.15	(月)			
.16	(火)			
.17	(水)	活動日	基地周辺下草刈り、竹紙づくり準備	
.18	(木)			
.19	(金)			
.20	(土)			
.21	(日)	活動日	道具・器具点検整備デー 竹紙原料づくり 理事会	キャンディー振舞い 牛水
.22	(月)			
.23	(火)			
.24	(水)	活動日	第41回財産区竹林整備 朝市駐車場 9:30 集合	小出
.25	(木)			
.26	(金)			
.27	(土)			
.28	(日)	活動日	竹紙原料づくり 12:00～竹取設立20周年親睦バーベキュー	雨天でも実施 12:00～
.29	(月)			
.30	(火)			
.31	(水)	活動日	竹紙原料づくり	

※8月はサマータイムとし活動時間 10:00～12:00